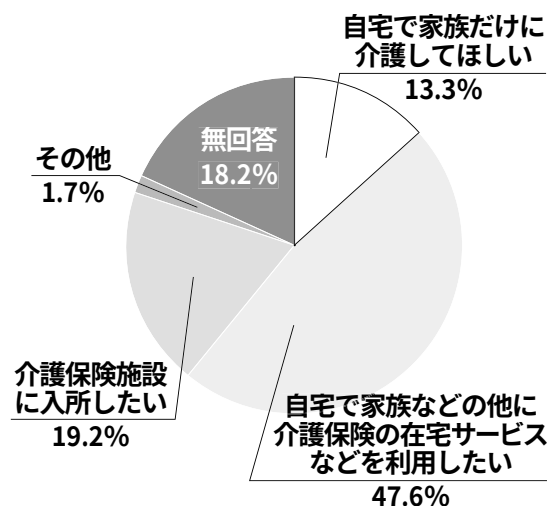


●今後希望する介護形態



介護保険施設に入所したい人は、その理由を「介護してくれる人の負担が大きいか」(71.4%)と答えています。

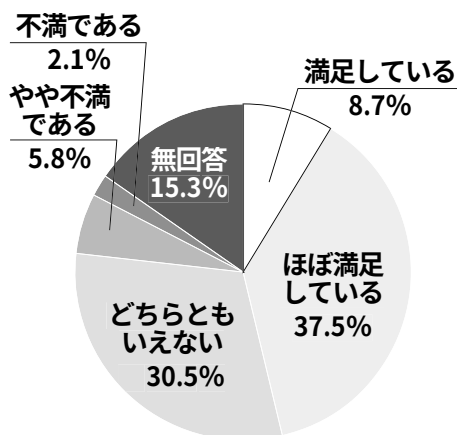
●今後多くまたは新たに利用したい在宅サービスの有無

新しく利用したい在宅サービスは、「ある」(35.5%)、「ない」(38.5%)、「無回答」(26.0%)となっています。利用したいサービスは「通所介護」(27.4%)が最も多くついで「訪問介護」(22.1%)、「短期入所生活介護」(17.4%)などでした。

●介護保険全般には46%が満足46.2%のかたがおおむね満足しています。また、介護保険が始まって良くなっ

たと思う点は「ケアマネジャーなど介護について相談する相手ができた」(41.0%)、「家族の介護の負担を減らせる」(39.3%)とするかたが多く、ついで「いろいろなサービスを利用できるようになった」(30.9%)となっています。

一方、悪くなったと思う点については「特になし」と答えたかたが39.4%と最も多いものの、「制度や施設の利用方法が複雑で分かりにくくなった」というかたが25.1%となっています。



なお、「よりよい介護保険制度とするために市に望むこと」は、「申請や契約などの手続きを簡素化してほしい」(34.6%)、「介護保険施設を増やしてほしい」(30.5%)、「利用料や保険料の負担軽減をしてほしい」(26.4%)、「介護保険に関する情報提供を充実してほしい」(23.9%)、「介護保険料が高くなってもサービスの種類

を増やしてほしい」(17.1%)ということが求められています。

「介護保険料が高くなってもサービスの種類を増やしてほしい」というかたに増やしてほしいサービスの種類をたずねたところ「移送サービス」が31.9%と最も多くついで「訪問理容サービス」(29.9%)、「配食サービス」(27.8%)の順となっています。

●地域の人からの支援や協力は25%が希望している

「望んでいる」(25.3%)、「どちらともいえない」(27.4%)、「望んでいない」(28.9%)、「無回答」(18.4%)となっています。このように、地域のかたが様子を見に来てくれたり、日常生活で困ったときに協力してくれることへの希望については、その有無が二分されています。

なお、世帯構成で見ると、ひとり暮らしのかたは42.9%、夫婦のみのかたが32.7%の割合で、地域の協力や支援を望んでいるという結果が出ています。

介護をしている かたへの質問

●主な介護者が介護をするうえでの困りごと

全体の4分の3のかたが「介護で困っ

高齢者保健福祉・介護保険に関する調査結果を公表



デイサービスには友だちもいて、気分をリフレッシュできます。

ていることがある(73.3%)とし、「困っていることはない」(22.7%)を大幅に上回っています(無回答は4.0%)。

具体的に困っている点は、「将来に不安を感じている」(58.7%)、「介護する人がほかにいない」(48.8%)、「身体的・精神的な負担が大きい」(48.8%)、「自分の時間がとれない」(40.7%)などという回答が寄せられています。

また、現在介護しているかたに対する支援サービスへの利用希望については、

「おもむきの給付」が最も多く、ついで「家族介護教室」、「介護者の集い」となっています。なお、サービス要望として「いつでも受け入れてくれるショートステイ先がほしい」、「移送サービスを実施してほしい」、「リラクゼーションや心のケアの機会がほしい」などがあげられています。

調査結果をもとに

今後の高齢社会を考える

●高齢者保健福祉に関する調査の結果を見てみると：

高齢化が進む中で、生活様式の多様化などから、ひとり暮らしと高齢者のみの世帯が急激に増えており、今回の調査ではその数がついに半数を超えました。そして、おおよそ2割のかたが健康に不安があり、1割のかたは地域との関わりがない、もしくは薄いことが分かりました。市では、この調査結果を生かし、将来にわたって持続可能な施策の展開が図れるよう、老人保健福祉計画を策定します。

●要介護認定者調査の結果を見てみると：

この調査は、主に、介護保険制度の仕組みへの理解や制度に関する感想、サービス利用の状況や問題点および家族介護地域支援などの状況をおたずねしたものです。調査結果では、「要介護認定を受け、「ケアプランを作成し」、「サービスを利用

する制度の根幹部分については6〜7割のかたが「納得」、「満足」と回答されており、現行の介護保険サービスについては、おおむね適正かつ利用者の意向を反映したサービス提供がなされていることがうかがえます。そして今後も、利用者と提供(専門)機関との意思疎通、提供機関相互の連携、サービス内容の一層の充実を図っていくことが重要と考えています。

また、要介護認定を受けたご本人が他人の介護を嫌がり、サービスの利用を拒否していることで、家族介護に依存せざるを得ない状況にある世帯も見受けられます。市では、この支援策も課題として捉えていく必要があると考えています。

なお、介護保険財政の6分の1を賄う65歳以上のかたの介護保険料は、4割を超えるかたが高いと感じており、今後さらに高齢化が進む中で、より良い制度のあり方の検討とともに、介護予防のより一層の充実が必要となっています。

今回は、高齢者保健福祉に関する意識調査、要介護認定者(在宅者)に対する調査、要介護認定者(施設利用者)に対する調査のうち、施設利用者以外の回答を抜粋してお知らせしました。この調査結果は、高齢者福祉課と介護保険課で配布しています。

●問い合わせ高齢者福祉課内線1573
か介護保険課内線1552